

1月の科学あそび分科会

身近な材料を使った エコな工作



担当：武藤昌代
報告：藤田あずさ
写真・作図：藤高信男

1月の科学あそび分科会は地区センターなどで科学あそびを続けている武藤さんに、楽しいエコ工作を教えていただきました。



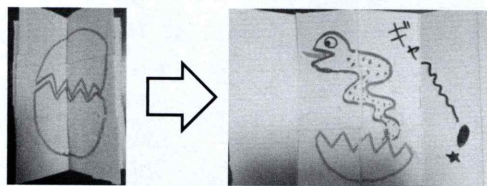
○牛乳パックでおもしろ変わり絵

A面からB面へ絵がパッと変わる工作です。赤いリングが青いリングになったり、オタマジャクシがカエルになったりと変化が楽しめます。

■材料 牛乳パック2個（開いて側面を使用）

■作り方 藤高さんが作図してくださったものを右ページに掲載

普通は画用紙などを使いますが、牛乳パックを使います。材料費がかからないこと・折りすじがしっかりついていることなど使いやすい材料です。作り方の三等分にするとところ・5mm切り取るところも、おおよそで大丈夫です。牛乳パックに描けるペンを用意します。



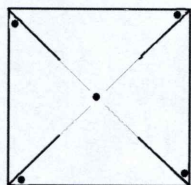
作品例

○かざぐるま

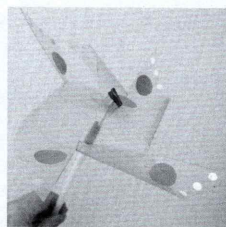
■材料 いらなくなったクリアファイル、ストロー、竹ぐし

■作り方

- ①クリアファイルを15cm×15cmに切る。
- ②対角線の中心までの半分くらいを切る。
- ③クリアファイルの中心と4隅に穴をあける。
- ④4箇所の穴を竹ぐしでまとめて、中心に通す。



- ⑤④にストローをつけて、竹ぐしの先とストローの先をテープでとめる。
- ⑥シールやペンで飾りをつける。



○パラシュート

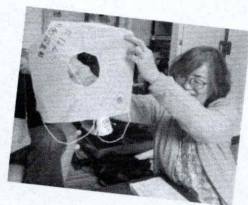
■材料 紙ナフキン（32cm×32cm）1枚、タコ糸（40cmくらい）4本、紙コップ（90mL）1個、丸シール（15mmくらい）4枚

■作り方

- ①広げた紙ナフキンの上になる面の4隅に丸シールでタコ糸をつける。
- ②4本のタコ糸を紙コップにつける。
- ③絵を描いたり、シールで飾る。

タコ糸をつけるとき、パラシュートの上になる面につけると、うまく開くようです。

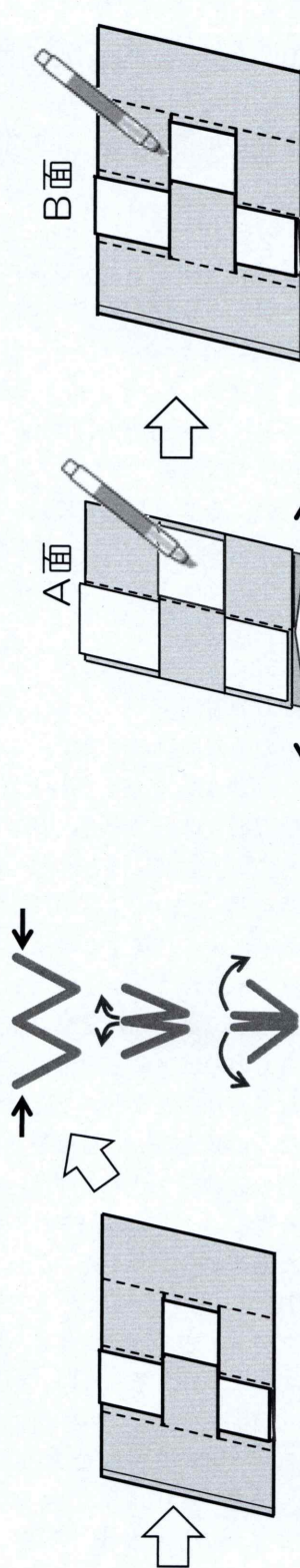
パラシュートの中心に穴を開けたり、タコ糸の太さや長さを変えたりと工夫しました。



武藤さんは放課後キッズ（横浜市の学童保育）など大勢の小学生と工作しています。その実践はとても参考になります。

牛乳パックの切り方はおおよそOKとか、絵を描く時間に差がついてしまったら、早くできた子は2個を作るなどと、工作する時のちょっとしたコツなど、いろいろ教えていただきました。参加者からもアイデアがあがり、楽しい分科会となりました。





- 1コマ目を描く
- 2コマ目を描く
- 矢印を左右に引くとB面になる
- A面に戻して完成！

A面に変える方法